



第103号 ～礼儀と節度を考える～

平成武師道

(人間活動学)

『大統領選挙』

アメリカ大統領選挙が終わった。

結果は、多くの予想に反しトランプが勝った。

まさしく先月の平成武師道勉強会のテーマ「勝負」である。

私も選挙には経験があるが、この場合は、とにかく勝たなければ話しにならない。

いくらトランプが暴言を吐こうが、大統領にそぐわなくても、民主主義の選挙の結果がトランプを選んだのだ。

選挙後、多くのヒラリー派がトランプ反対のデモをした。

別にこの行為が良いとか悪いとかは、どうでもいいのだが、それならば何故、選挙前にもっと運動しなかったのだろう。

ヒラリー有利という下馬評で、「大丈夫」という油断があったのではないだろうか。

結果的に投票数ではヒラリーの方が多かったが、アメリカの大統領選挙の場合は、いわゆる国取り合戦、

各州ごとに勝たなければならない。

結果はトランプの勝ち。

ヒラリーは悔しいだろうが、これが現実であり、結果なのである。

この選挙、戦ってみなければ分からない事が顕著に表れた「勝負」であった。

そして、身の回りを見たり、聞いたりするだけの情報だけを鶏呑みにするだけではなく、時の運命や流れが「勝ち」を呼び込む事を知らされた。

もちろんトランプもヒラリーも必死で努力したに違いない。

戦いは、お互い接戦であったが、最後は天命が答を出したみたいな結果になった。

しかし、マスコミがトランプのインパクトの強い部分だけを切り取って、面白おかしく報道した責任はどうしたものか。

さて、これからの世界はどう流れて行くのだろう。

トランプの政治的手腕のお手並み拝見といこう。

これは余談だが、大統領選挙を見てヒラリーはオジサンに見えて、トランプはオバチャンに見えたのは私だけだろうか。

今回の勉強会のテーマ「男女」でも、年齢を重ねると性別が逆転してしまう事があるのかどうか、そしてそれはどうしてなのかを語ってみたいと思う。



佐々木 晴